

第1回まちづくり協議会 提言

駒沢大学附属苫小牧高校

マーチングバンド イン ルベシベ

夏季合宿そして公開練習の件

できる事からはじめようを合言葉にかねてから計画されておりましたが、この度留辺薬町に来て演奏を披露してくれるとの事「決定」ですので実りある行事として成功させたいものです。

長年駒大苫小牧高校の学校医として子供たちの健康管理をさせていただいていた関係で前校長の篠原勝昌先生とは公私共に親しい間柄でした。小生がこちら留辺薬町に転居する際のお別れ会の席で必ず会いに来てくれる約束を結び別れになったいきさつがありました。

前置きが長くなってしまいましたが国内におきましてもトップクラスの駒大苫小牧高マーチングバンドの「夏季合宿」を留辺薬町で決行する事で約束を取り付けてきました。

1) 目的

人口約9千人の町、子供たちからお年よりまで多くの町民に元気をわけてもらう。

町内をマーチングバンドに練り歩いてもらい町民と親睦を深めてもらう。

町内の音楽団体と音楽を通して交流をはかってもらう。

留辺薬小学校、留辺薬中学校、温根湯中学校、

留辺薬グリーンプラスハーモニー

施設の御老人を慰問してもらう。

マスコミにこれらの事を広く発信してもらう。

通年の行事になって欲しいという希望

2) 今年度の具体的な日程

夏季合宿予定日

7月31日(火)、8月1日(水)、2日(木)、3日(金)、4日(土)の4泊5日の予定

約90人のクラブ員とその他教職員

宿泊場所：塩別つるつる温泉、総支配人 市橋 豊氏と前校長 篠原 勝昌先生で細目は詰めた模様。

合宿場所：体育館、屋外

3) パレードのコース検討(可能かどうか)

4) 屋内での演奏も視野に必要

体育館(運動公園)200人収容可 合宿中の体育館は終日貸しきり手配済み。

5) その他・演出の工夫など

合宿の様子を記録(CDにおとす)し父兄に送る。

6) 来賓の件

7) 必要と思われる経費

今回の合宿の計画はあくまで前校長、篠原 勝昌先生と木村との個人的な責任の中で実行されるもので公的な出費は基本的にはないという考え方。

しかしながら将来的な事を考え合わせますと謝礼という形で往復の交通費、子供たちの往復バスの中での飲食費程度はいかがなものでしょうか。

8) 効 果

文化・芸術的波及効果に期待をもちたい。

子供たち、若い世代、御年配、からだの御不自由な方々に良質な感動を共通していただければ目標は達成。経済的な効果はあとからついてくるもの。

とにかく今回は皆様方のお力をお借りし町全体で盛り上げてゆきたいものです。

9) いまだ細部については未決定な部分も数多くありますのでどういう形で進めてよいかの指針について御教示お願いしたいしだいです。

とにかく良い町づくりをするためには、一人でも多くの方々に来町していただきたい。そして留辺蘂町のよさを実感していただきたい。

何とか約束はとり交わしてきました。

先方も多忙という事でした。6月30日(土)までには細目に関しましても決めてゆきたいものです。よろしく願いいたします。

平成19年5月9日(水)